

江田島市地域経済動向調査（令和3年2月）

■全国の景況

◇月例経済報告（令和2年12月号より）

『景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。』

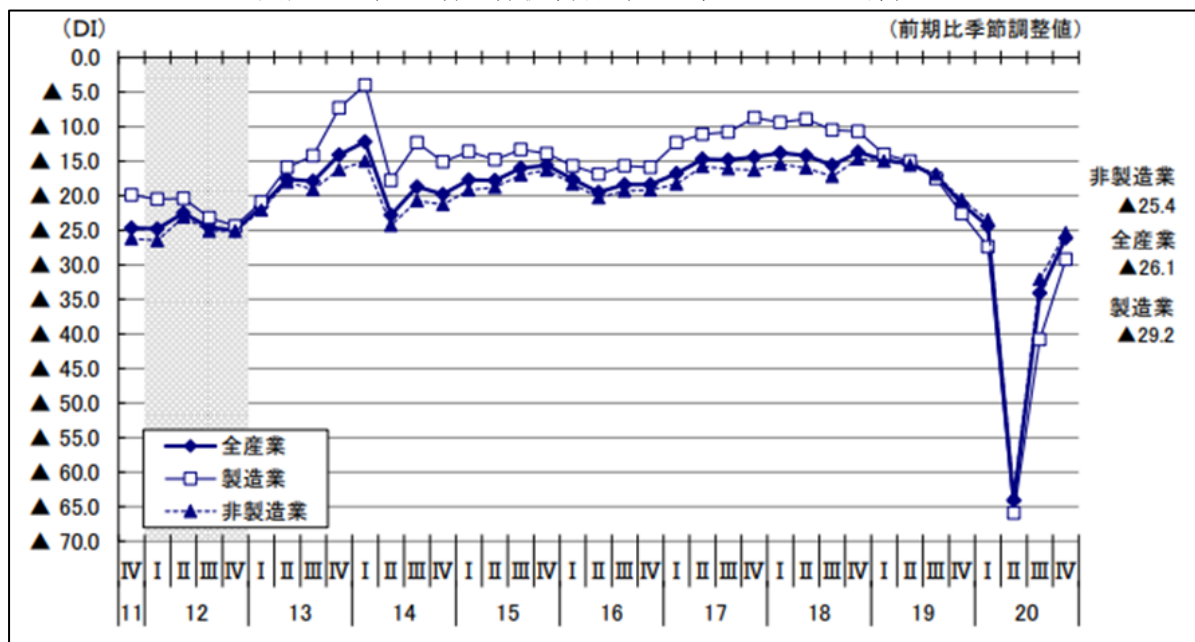
- ・個人消費は、一部に足踏みもみられるが、総じてみれば持ち直している。
- ・設備投資は、このところ減少している。
- ・住宅建築は、弱含んでいる。
- ・公共投資は、堅調に推移している。
- ・輸出は、増加している。輸入は、おおむね横ばいとなっている。貿易・サービス収支は、黒字となっている。
- ・生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、感染症の影響により、大幅な減少が続いているものの、総じてその幅には縮小がみられる。企業の業況判断は、厳しさは残るものの、改善の動きがみられる。倒産件数は、このところ緩やかに減少している。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。
- ・国内企業物価は、このところ横ばいとなっている。消費者物価は、横ばいとなっている。
- ・株価（日経平均株価）は、26,500 円台から 26,800 円台まで上昇した後、26,400 円台まで下落し、その後 26,700 円台まで上昇した。対米ドル円レート（インターバンク直物中心相場）は、104 円台から 103 円台まで円高方向に推移した。

◇中小企業景況調査（2020年10～12月より）

『中小企業の業況判断DIは、2期連続で上昇した。』

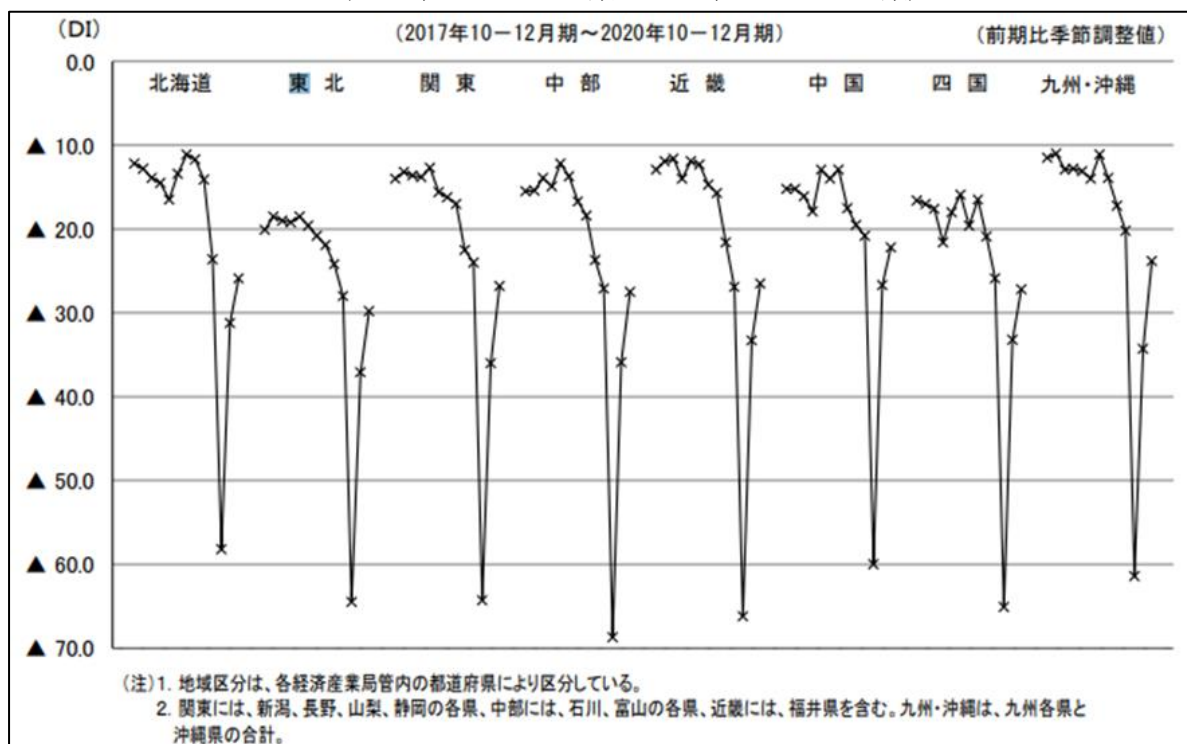
- ・2020年10～12月期の全産業の業況判断DIは、▲26.1（前期差8.0ポイント増）となり、2期連続して上昇した。
- ・製造業の業況判断DIは、▲29.2（前期差11.6ポイント増）となり、2期連続して上昇した。
- ・非製造業の業況判断DIは、▲25.4（前期差6.7ポイント増）となり、2期連続して上昇した。

図表1 中小企業の業況判断（2020年10月～12月期）



- ・地域別の業況判断D I（全産業）は、九州・沖縄、関東、中部、東北、近畿、四国、北海道、中国の全ての地域でマイナス幅が縮小した。

図表2 中小企業の地域別業況判断D Iの推移（全産業）
（2017年10月－12月期～2020年10月－12月期）



■広島県の景況

◇広島県内経済情勢報告（令和3年1月）

『県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きが続いている』

- ・個人消費：「新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直している」

百貨店販売は衣料品などが低調であり、前年を下回っているなか、足下では来店客数が減少している。家電販売は空気清浄機などが好調であるものの、暖房器具などが低調であり、前年を下回っている。ドラッグストア販売は衛生用品や食料品などが、ホームセンター販売は園芸・エクステリアなどが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも前年を上回っている。これらのことから、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では一部に足踏みがみられるものの、全体では、緩やかに持ち直している。
- ・生産活動：「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる」

輸送機械は、自動車海外向けに需要が堅調であることなどから、増加している。鉄鋼は、自動車向けに需要が持ち直していることなどから、増加している。プラスチック製品は、タブレット端末向けに需要が好調であることなどから、増加している。一般機械は、企業の設備投資に慎重な姿勢がみられることなどから、減少している。このように、生産活動は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。
- ・雇用情勢：「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

有効求人倍率はおおむね横ばいで推移しているものの、新規求人数は前年を下回っているなど、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
- ・設備投資：「2年度は前年度を上回る見込み」

○製造業では、「自動車」、「非鉄金属」などで減少するものの、「生産用機械」、「その他製造」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

○非製造業では、「運輸・郵便」、「小売」などで減少するものの、「金融・保険」、「その他のサービス」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- ・企業収益：「2年度は減益見込み」

○製造業では、「その他製造」、「木材・木製品」などで増益となるものの、「生産用機械」、「非鉄金属」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

○非製造業（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）では、「小売」、「建設」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- ・企業の景況感：『上昇』超に転じる」

企業の景況判断BSIは、「上昇」超に転じている。なお、先行きは「下降」超に転じる見通しとなっている。
- ・住宅建設：「前年を上回る」

新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家が減少しているものの、分譲住宅、給与住宅が増加していることから、前年を上回っている。
- ・輸 出：「前年を下回る」

県内通関実績（円ベース）でみると、輸出は、自動車などが増加しているものの、鉄鋼、一般機械などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、大洋州などで増加しているものの、中南米、アジアなどで減少している。

図表3 広島県の主要経済指標

	鉱工業生産指数 (季節調整値) (2015年=100)		電力需要 実績 伸び率 前年比	百貨店・ スーパー 販売額 伸び率 前年比	乗用車 新車登録・ 届出台数 前年比	新設住宅着工戸数 伸び率、前年比			公共工事 請負金額 伸び率 前年比	所定外 労働時間 伸び率 前年比
	指数	前月(年)比				戸数合計	持家	賃貸		
2016年	101.2	1.2	—	△ 0.5	△ 2.5	12.6	5.1	17.4	※△ 2.8	1.9
17	103.3	2.1	—	△ 1.5	6.5	14.2	△ 1.8	14.5	※ 3.3	0.6
18	100.3	△ 2.9	—	△ 1.2	2.2	△ 12.0	△ 2.2	△ 14.2	※ 16.6	△ 2.3
19	100.7	0.4	—	△ 0.6	△ 3.6	2.2	2.6	△ 12.0	※ 27.9	△ 1.3
19年7～9月	98.2	△ 7.1	△ 0.9	1.4	4.2	△ 8.5	3.4	△ 27.1	32.1	0.3
10～12	96.1	△ 2.1	4.7	△ 4.4	△ 16.6	1.1	△ 9.0	△ 3.5	16.3	△ 2.9
20年1～3	99.9	4.0	0.7	△ 2.1	△ 5.5	△ 10.9	1.7	△ 5.2	△ 5.0	△ 6.6
4～6	73.9	△ 26.0	△ 7.2	△ 14.0	△ 32.0	△ 33.1	△ 18.1	△ 36.9	10.8	△ 27.7
7～9	90.3	22.2	△ 0.0	△ 5.4	△ 13.1	△ 10.2	△ 11.1	0.8	17.2	△ 16.3
19年 10	95.5	△ 1.3	4.2	△ 9.7	△ 26.3	34.7	1.1	63.8	44.0	△ 0.8
11	94.1	△ 1.5	5.5	△ 1.7	△ 11.1	△ 22.1	△ 24.0	△ 19.0	△ 8.0	△ 3.2
12	98.7	4.9	4.3	△ 2.5	△ 12.0	△ 5.7	△ 2.2	△ 34.4	7.3	△ 4.7
20年 1	102.7	4.1	1.2	1.1	△ 12.2	△ 14.5	△ 9.0	△ 2.3	△ 23.2	△ 3.5
2	101.9	△ 0.8	0.7	2.8	△ 5.1	△ 27.1	△ 4.2	△ 17.5	12.0	△ 5.8
3	95.0	△ 6.8	0.3	△ 9.4	△ 1.3	12.7	18.5	5.9	△ 2.7	△ 10.3
4	74.5	△ 21.6	△ 3.5	△ 23.2	△ 29.1	△ 44.2	△ 17.6	△ 66.6	56.5	△ 21.6
5	71.6	△ 3.9	△ 11.8	△ 17.3	△ 44.2	5.0	△ 24.1	37.1	△ 17.7	△ 33.7
6	75.7	5.7	△ 6.3	△ 2.1	△ 23.4	△ 45.6	△ 13.7	△ 50.6	△ 18.3	△ 28.3
7	90.2	19.2	△ 1.9	△ 1.7	△ 11.1	△ 32.7	△ 11.5	△ 3.4	10.3	△ 22.3
8	91.7	1.7	△ 0.5	△ 2.5	△ 13.0	△ 11.7	△ 12.6	8.1	13.0	△ 13.8
9	89.1	△ 2.8	2.4	△ 12.0	△ 14.7	18.7	△ 9.1	△ 2.9	32.8	△ 12.5
10	P 89.9	0.9		6.7	30.6	△ 20.1	△ 25.8	△ 26.0	0.6	△ 11.4
11				0.4	6.1	23.4	4.5	23.5	13.3	
調査機関	広島県統計課		資源エネルギー庁	中国経済産業局	中国電力株式会社	国土交通省			西日本建設業振興	県統計課

(注) P(仮定値)。鉱工業生産指数の暦年値は原指数。電力需要実績は特別高圧(大規模工場やデパート、オフィスビル)と高圧(中小ビルや中小規模工場)の合計値で、2016年3月までは中国電力公表の大口電力需要を掲載している。百貨店・スーパー販売額の伸び率は店舗別値、公共工事請負金額と有効求人倍率の※は年度、所定外労働時間は事業所規模5人以上。

	有効求人 倍率 (倍)	消費者 物価指数 伸び率 前年比 (広島市)	銀 行		手 形 交 換		不 渡 手 形 (内取引停止処分)		企 業 倒 産 (負債1千万円以上)	
			総 預 金 (億円)	貸 出 金 (億円)	枚 数 (千枚)	金 額 (億円)	枚 数 (枚)	金 額 (万円)	件 数 (件)	負債総額 (百万円)
2016年	※ 1.68	0.0	122,718	86,678	1,141	33,994	28	4,042	127	60,005
17	※ 1.88	0.3	126,134	90,150	1,055	30,304	81	5,959	155	27,960
18	※ 2.08	0.8	129,242	94,233	970	27,930	94	8,506	184	31,553
19	※ 1.96	0.1	131,899	98,109	912	27,870	89	10,045	190	24,866
19年7～9月	2.02	△ 0.1	131,112	99,368	246	7,236	1	52	41	3,573
10～12	1.98	0.4	133,031	101,114	203	5,837	64	7,942	58	8,629
20年1～3	1.78	0.8	134,518	101,615	226	6,556	17	610	41	9,118
4～6	1.53	0.4	140,135	104,189	199	5,600	5	246	47	9,202
7～9	1.25	0.4	140,496	104,038	197	6,403	1	146	39	4,448
19年 10	2.00	0.1	131,178	99,568	74	1,876	23	3,286	34	5,601
11	1.97	0.5	131,542	100,051	54	1,728	16	1,950	14	830
12	1.96	0.8	133,031	101,114	75	2,233	25	2,706	10	2,198
20年 1	1.81	0.7	131,712	101,336	85	2,241	7	180	7	306
2	1.78	0.9	132,943	101,380	53	1,769	3	179	19	2,769
3	1.76	0.8	134,518	101,615	88	2,546	7	251	15	6,043
4	1.64	0.2	138,083	102,274	68	1,980	1	124	21	5,292
5	1.52	0.4	138,685	104,344	47	1,794	3	75	7	2,991
6	1.43	0.6	140,135	104,189	84	1,826	1	47	19	919
7	1.35	0.5	139,470	104,496	69	1,715	—	—	21	2,665
8	1.22	0.5	140,013	104,613	65	2,330	—	—	11	1,023
9	1.19	0.3	140,496	104,038	63	2,358	1	146	7	760
10	1.18	△ 0.3	141,617	104,590	50	1,824	—	—	12	3,586
11	1.20	△ 0.6	140,870	104,474	75	2,785	—	—	11	767
調査機関	広島労働局	総務省	日本銀行広島支店		広島県銀行協会			帝国データバンク広島支店		

(注) 有効求人倍率の※は年度で年次値、年度及び四半期の数値は月平均。総預金、貸出金は月末残高、四半期は期末残高、年次値は3月末残高。銀行には第二地方銀行協会加盟行を含む。

■江田島の景況

◇中小企業景況調査（令和2年12月）

『江田島の景況は全国及び広島県の情勢を大きく下回っていると思われる。』

中小企業景況調査より、令和2年10月～12月の景況判断状況は次のとおりである。

- ・令和2年10月～12月期の広島県の全産業の業況判断D Iは▲22.9であり、全国と比較して、3.2ポイント高くなっている。
- ・江田島の数値は15社分の集計結果であり、参考値としてみていただきたいが、業況判断D Iは▲73.3であり、全国値・広島県値より大幅に低い値となっている。

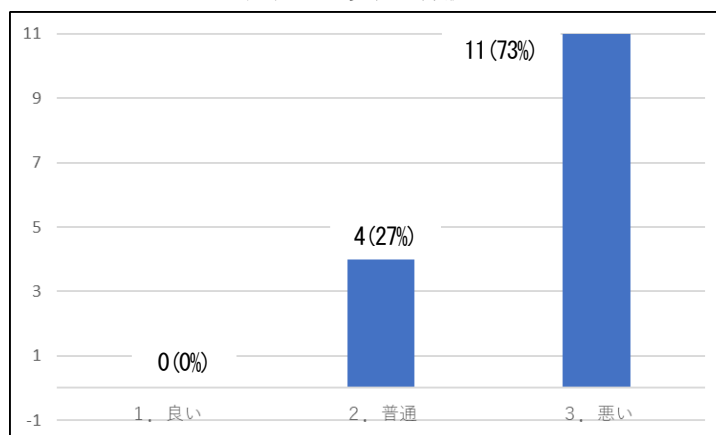
図表4 景況判断状況（全産業）

（前期比）

	2019年				2020年			
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月
全国	▲14.8	▲15.4	▲17.1	▲21.2	▲24.4	▲64.1	▲34.1	▲26.1
広島県	▲10.3	▲11.1	▲13.6	▲16.7	▲20.2	▲57.2	▲17.9	▲22.9
江田島市	▲40.0	▲33.3	▲46.7	▲46.7	▲66.7	▲60.0	▲80.0	▲73.3

- ・江田島市15社分の現在の景況感は次のとおりである。
なお、令和2年10月～12月に設備投資を実施した事業者はなかった。

図表5 現在の景況感



- ・中小企業景況調査では、全国で約19,000企業、江田島市商工会では15社が対象となっている。
- ・江田島市商工会においては、製造業では「原材料費・人件費以外の経費の増加」及び「需要の停滞」が、建設業では「官公需要の停滞」が、小売業では「需要の停滞」が経営上の問題点の1位となっている。また、サービス業では経営上の問題点の1位は「その他」であり、2位が「利用者ニーズの変化への対応」及び「店舗設備の狭隘・老朽化」となっている。

図表6 経営上の問題点

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全 国	需要の停滞	製造設備の不足・老朽化	製品ニーズの変化への対応
	江田島市商工会	原材料費・人件費以外の経費の増加 需要の停滞	熟練技術者の確保難	製品（加工）単価の低下・上昇難
建設業	全 国	従業員の確保難	民間需要の停滞	官公需要の停滞
	江田島市商工会	官公需要の停滞	民間需要の停滞	その他
小売業	全 国	需要の停滞	消費者ニーズの変化への対応	大・中型店の進出による競争の激化
	江田島市商工会	需要の停滞	購買力の他地域への流出	仕入単価の上昇
サービス業	全 国	需要の停滞	利用者ニーズの変化への対応	従業員の確保難
	江田島市商工会	その他	利用者ニーズの変化への対応 店舗施設の狭隘・老朽化	人件費の増加

◇保証月報（広島県信用保証協会月報）

江田島市内事業所の金融保証承諾及び保証債務残高の状況は次のとおりである。

- ・令和2年12月末時点の江田島市内中小企業の保証承諾件数は167件、金額は2,696百万円であり、前年同月比で大幅に増加している。
- ・令和2年12月末時点の江田島市内中小企業の保証債務残高件数は504件、金額は5,029百万円であり、前年同月比で増加している。

図表7 保証状況（江田島市・広島県）

（単位：百万円）

	令和元年12月				令和2年12月			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
江田島市	69	758	448	3,584	167	2,696	504	5,029
広島県	11,752	129,941	56,763	413,489	34,365	516,243	76,750	781,426

以 上